

12万市民の力が結集して創る 習志野市民の大きな文化遺産

1978（昭和53）年12月21日（木）に習志野文化ホールは誕生しました。当時の広報習志野を見ると、『すべての市民が自由に参加できる文化の広場を創造したい』こうした願いが、文化ホール建設の夢を生み、そして正にここに実現しようとしています』とあります。

12月21日から翌年1月28日まで記念行事として演奏会、民謡、テレビの公開録音などが開催されました。このときスタートしたならしの第九合唱団の「第九演奏会」は2022年12月に第44回を迎えました。では記念行事の演目を見てみましょう。

●昭和53年12月

記念式典／NHK公開番組「青年のためのプロムナードコンサート」東京フィルハーモニー管弦楽団 指揮・手塚幸紀 パイプオルガン・広野嗣雄／ベートーベン「第九交響曲演奏会」習志野フィルハーモニー管弦楽団 指揮・伴行雄 合唱・ならしの第九合唱団 四日後、

●昭和54年1月

同メンバーで特別追加演奏会／よい子のクリスマスコンサート習志野少年少女合唱団および八千代、千葉、市川、松戸5市6団体による児童合唱フェスティバル パイプオルガン・福山藍子

ぬいぐるみ児童劇「少年と竜」劇団ピッカリ座／日本舞踊の会 市内舞踊家による発表会／市民芸

◀1978（昭和53）年12月1日付の『広報習志野』。市民の夢だった文化ホール実現のわくわく感が伝わってきます。

世帯と人口

12月1日現在	前月比	前年比
世帯 39,915件	+ 99件	+ 250件
人口118,783人	+354人	+ 477人
男 61,570人	+142人	+ 60人
女 58,213人	+212人	+ 417人

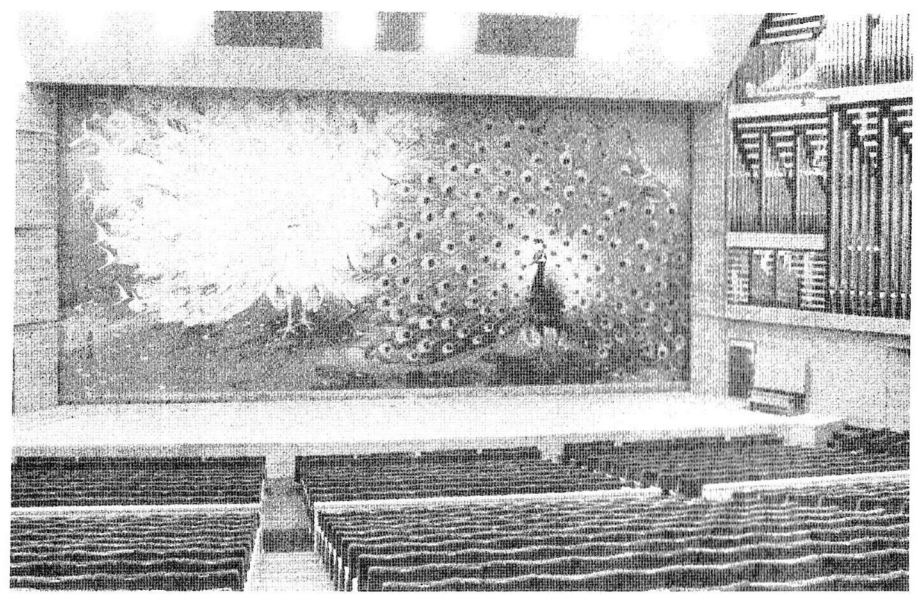
習志野市又歌住宅都市圏章

1. わたくしは習志野市民は、美しい空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないまちをつくりたい。

1. わたくしは習志野市民は、暖かい生活環境をこのえ、住みよいまちをつくりたい。

1. わたくしは習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくりたい。

（☎275）
毎月2回 習志野市役所（0474）73-1151 1部・東送科 571号
1日：15日発行 習志野市紙1丁目1番1号 年間発行部数1,482万



響きわたるパイプオルガンの調べ 習志野文化ホール いよいよ21日オープン

能祭 習志野市文化協会、町会などによるお囃子、民謡など／NTV公開番組「それは秘密です」／習志野市老人演芸大会／二葉百合子ショー／民舞発表会／演劇「夕鶴」劇団ぐるうぶ団／新春コンサート「ダークダックスを迎えて」／成人の日・成人式と記念講演 講演・野間宏／市民音楽祭 習志野市音楽連盟16団体／TBS公開番組「家族そろって歌合戦」／シユトウットガルト・バッハ合唱団・管弦楽団演奏会 指揮・ヘルムート・リリンク パイプオルガン・ゲルハルト・マイヤー／フジTV公開番組「君こそスターだ！」グラントチャピンピオン大会／婦人団体新春のつどい／市民民謡祭／さだまさしコンサート／小・中・高校音楽祭／ならしの市民寄席 円生 円楽 円弥／NHK交響楽団特別演奏会 指揮・尾高忠明 ピアノ・深沢亮子